

平成 29 年度高知地域留学生交流推進会議総会 議事要旨

日 時 平成 30 年 2 月 7 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00

場 所 高知県産学官民連携センター (ココプラ) 4 階多目的ホール

出席者 委員 20 名 (代理を含む・別紙名簿のとおり)、文部科学省高等教育局学生・留学生課留学生交流室留学生交流支援係長 岡田氏

欠席者 21 名

陪席者 高知県立大学学生支援部長兼国際交流課長 柏木氏、高知大学 8 名

議事に先立ち、議長の高知大学脇口学長より、「県下の産学官で連携し、留学生に関する体制整備を推進することで、例えば留学生の県内就職率の向上による高度人材やグローバル人材の確保が可能となることが見込まれる。また、外国人観光客への通訳支援などを通じて観光客増加が期待できるため、今後の本会議ではこれまでのような報告事項のみに留まらず、県下の留学生及び留学生を通じた課題解決型の提案・議論の場となるようご協力願いたい」との挨拶があった。

続いて、各委員の自己紹介が行われた後、特別講演として文部科学省の岡田氏より「留学生政策をめぐる現状と取組」についての講演が行われた。

議 事

1. 平成 29 年度事業報告について

事務局から、資料 1 に基づき、次の事業についての報告が行われた。

- ① 「高知地域留学生交流推進会議」における諸会議の開催について
- ② 留学生の経済的支援の推進について
- ③ 広報・情報の発信について
- ④ 国際交流関係事務担当者研修会の開催について
- ⑤ 留学生と地域住民との交流推進について

続いて、資料 2 に基づき、高知地域留学生交流推進会議構成団体の事業実施状況が関係団体から報告された。また資料 4 に基づき、「高知大学留学生を支援する会」の解散による退会と (株) 高知新聞社名誉顧問橋井昭六様の退会について報告があった。

2. 平成 30 年度高知地域留学生交流推進会議事業計画 (案) について

事務局から、資料 3 に基づき、平成 30 年度「高知地域留学生交流推進会議」事業計画 (案) について、説明があり、原案どおり承認された。また国際交流関係事務担当研修会について、高知工科大学が担当となることが確認された。

3. 高知地域留学生交流推進会議の在り方について

事務局から、資料 5 に基づき今後の高知地域留学生交流推進会議の在り方について以下の提案があった。

本会議は文部科学省の留学生 10 万人計画を受けて発足し、平成 15 年の目標達成以降、現在は平成 32 年までに 30 万人受入計画が進行している中で県下の留学生交流推進のため開催している。現在の課題として、例えば JASSO (「外国人留学生の就職促進について」H29.6 月) によると約 6 割の外国人留学生が日本で就職を希望しているが、実際に日本で就職しているのは 3 割に留まっているなど留学生の就職に関するマッチングの問題がある。また、少子化・地方からの労働人口流出による地域における高度人材、グローバル人材の確保が懸念されており、今後は、産学官が連携し留

学生に関する体制整備を促進することが期待されている。その他、県内小中高校の異文化理解講座への留学生の派遣や留学生による外国人観光客等への通訳支援を通じた県下への還元など、本会議はこれまでのような報告事項のみに留まらず、課題解決型の提案・議論の場となるよう次年度の幹事会で議論していきたいと提案があり、承認された。

また、文部科学省岡田氏より「他の地域の交流推進会議では、産学官の連携による課題解決や問題の情報共有の場としている地域もある。高知地域においても会議の在り方について見直しを検討しているのであれば、参考にしてはどうか。」との意見があった。各委員からは帰国留学生からの情報提供・留学生による商品査定など留学生の力を活かす事例紹介や、県内企業と留学生のマッチングの可能性などについて発言があった。

4. その他

特になし。

以 上